

議事概要		
我孫子市鳥の博物館リニューアル基本計画 第1回検討委員会		
日 時	2023年7月21日(金) 13:30~16:00	
場 所	我孫子市鳥の博物館	
出席者(敬称略)		
検討委員会委員(委)	小川博委員、鶴見みや古委員、西海功委員、平岡考委員、平田和彦委員、福井彰委員、相良直巳委員、伴野茂樹委員、森俊憲委員、金子直哉委員、神野智尚委員(欠席)、中井達也委員	
事務局		
我孫子市教育委員会	丸智彦教育長	
我孫子市鳥の博物館(館)	木下登志子、小田谷嘉弥、鈴木ひなの、望月みずき	
株式会社乃村工藝社(乃)	横田 浩志、後藤紳一郎	
傍聴人	なし	
配布資料		
次第		
資料1 我孫子市鳥の博物館展示リニューアル基本計画検討委員会委員名簿		
資料2 我孫子市鳥の博物館展示リニューアル基本計画検討委員会設置要綱		
資料3 我孫子市鳥の博物館展示リニューアル基本計画検討委員会スケジュール		
資料4 鳥の博物館の運営方針および実施計画(令和5年3月)		
資料5 鳥・動物・自然系展示のご紹介		
次第	概要	発言者
1 教育長挨拶		
2 委員自己紹介		
3 事務局紹介		
4 検討委員会について	(資料2及び3により説明)	館
5 議事		
① 正副委員長の選出	・小川委員長、西海副委員長に決定。	
② 博物館運営方針説明	(資料4により説明)	館
質疑応答	・入館者減に対し、アンケートはとっているか。 →アンケートはとっていないが、意見を提出できる用紙は置いている。 その中で、どの展示が良かったといった感想も含めて受け取っているものはある。 今回のリニューアルに向けた検討の中でアンケートを実施することも考えられる。 →また、企画展実施の際には企画展内容に対するアンケートを実施しているが、その回答の中で常設展に対するご意見をいただくことはある。 今後、これまでいただいてきた意見を見ていくということはある。	中井委員 館
	・非来館者に対する意見収集は行っているか。 ネットを活用した調査というのも考えられるのではないか。 →市全体で運用している「Eモニター制度」を活用する方法は考えられる。	森委員 館
	・市の人口は？ →13万人程度である。	福井委員 館
	・入館者数は4万人というのが何か指標になっているのか。	福井委員

	→総合計画や事務事業評価などいろいろなところで指標として使っている。	館
	・平均滞在時間は把握しているか。	小川委員
	→入退館の時間記録は取っていないので、確かなことは申し上げられない。	館
	お子さんでサッと見て帰る方もいれば、2～3時間いらっしゃる方もいる。	
	・入館者数は総論で見ても仕方がなく、要素別で見る必要があると思う。	相良委員
	例えば、各学校がどういうプログラムで来ているか、市内はどうで県内だとうか、	
	ジャパンバードフェスティバルの時にはどうかなど、個別的看着ていく必要がある。	
	総論ではなく具体的データを示して分析が必要。	
③ 事例紹介	(資料5により国内外の事例を紹介)	乃
質疑応答	・事例の施設の面積は。	平田委員
	→調べてお伝えする。	乃
④ 館内見学		
⑤ 意見交換	・(リニューアルは)財政的な負担も大きい。	平岡委員
	・オーディオ・ビジュアルなど、ハイテクなものも検討されると思うが、	
	実物の持つ力というものを大事にすることを忘れないでほしい。	
	・鳥の専門的な博物館は唯一無二なので、そこは揺らぐことなく守ってほしい。	平田委員
	・スペースの兼ね合いがあるが、動きのある剥製展示も大事にしてほしい。	平田委員
	・剥製と併せてスマホを活用してはどうか。その鳥がどのようなものを食べるか	伴野委員
	など、生態も伝えられるとよい。	
	・ジオラマが開館当時の環境を表しているとのことだったが、それから今日までの	森委員
	時間の流れ、我孫子がどのように変わってきたのかを見せられるとよいと感じた。	
	・館のコンセプトが「人と鳥の共存」とのことだったが、ややそのことについてふれる	森委員
	展示が乏しい印象があるので、そうした観点でも工夫があるとよいのではないかと。	
	・バグヤードの窮状についてもっと訴えて、この際に改善できるとよいと感じた。	森委員
	その充実に向けても提言が出来ればよいと思う。	
	・今回のリニューアルで老朽化設備の更新やICT活用などが進むだろうと思うが、	中井委員
	是非たくさん子どもたちにきてもらえるようにしてほしい。	
	・子どもたちはデジタルのものにふれる機会は非常に増えており、デジタル化は	金子委員
	必要である一方で、実物に接する機会は貴重なので、そこは維持してほしい。	
	・子どもたちが楽しめるという面では、今ある3階のクイズコーナーはリニューアル後	金子委員
	も残してほしい。	
	・鳥の博物館は我孫子市の施設ではあるが、鳥の愛好家から見れば日本でも	相良委員
	ここにしかない唯一無二の存在だと思う。そういう意味では、誰に来てもらい、	
	何を見てもらうのか、多面的な要素があると思う。周辺市と連携した取組など	
	検討できれば、恒常的に来てもらえるような環境も作れると思う。	

		・鳥の愛好家の方への対応という面では、必ずしもリアルな場というだけでなく、バーチャルな世界(WEB)も活用することでこの館の存在価値を高めることができるのではないかと思う。	相良委員
		・リアルな場においては、サインージ技術の活用や、参加型の展示を取り入れることも検討すべきだと感じる。	相良委員
		・現在の展示構成は基本しっかり見せている。系統・分類、地域のこと、機能の説明があって、最後にはメッセージもある。今の展示も良いものを紹介しているので、それを活かしながら進めていきたい。	福井委員
		・限られたスペース、予算で展示を変えていかねばならない。	鶴見委員
		・新しい知見を反映した展示にしていく必要がある。	
		・良い展示だが来館者が少ないというのは残念。教育的な効果があり、若い人にも楽しんでもらうことが大切。	西海委員
		・ジオラマは手間がかかっている割には地味と捉えられがち。森委員の発言にもあったが、四季の変化がわかり、教育的効果がある。ジオラマ展示にワクワク感をどう付加するのが課題である。	西海委員
		・教育課程の中にどういふふうに博物館を組み込んでいくかということも大事。どのようにすれば先生が取り入れやすく、生徒もわかりやすいかという工夫に頭を悩ませて考えることも大事だと思う。予算を使うことに対する教育効果という観点も必要だと感じる。	西海委員
		・鳥についての切り口がたくさんある展示である。	小川委員
		・来館者の理解度には相当の幅があると感じるので、ターゲットなどを総合的に見ていく必要がある。	
		・海外からの来日者数も増えてきているし、世界的に発信していけるような展示にしてもらえると良いと感じた。	小川委員
6	その他	(事務局より事務連絡)	
			以上
		(※閉会后、希望者を対象に館学芸員による企画展示案内を行った。)	